

## 雲出川中流部流域水害対策協議会準備会 議事要旨

日時：令和5年1月23日（月）15:00～16:00

場所：三重河川国道事務所災害対策室+WEB会議

### 1. 開会

### 2. 挨拶

○菅 三重河川国道事務所長

- 本日の流域水害対策協議会準備会は、雲出川中流部において流域治水を本格的に推進していくにあたり、年度末の特定都市河川指定に向けた協議、情報共有を行う目的で開催させて頂くものである。
- 特定都市河川及び流域を指定することで、住民や開発したい方々への規制を伴うという側面が生じる。ただし、これは自らの開発による浸水被害の増大を生じさせない対策を自らが行うという前向きな捉え方ができれば良いと考えている。このため、2月に予定している地元説明会では、説明の工夫を考えており、皆様からご助言・ご意見あれば是非伺いたい。
- 流域治水は、関係者および住民、皆様が協働しなければ進まないため、引き続きこのような連携の場を持てれば良いと思っている。

### 3. 規約（案）について

- 承認された。

### 4. 流域水害対策の推進について

- 意見なし。

### 5. 意見交換

○前葉 津市長

- 赤川の須ヶ瀬地区では、地域住民から早期整備を求める要望があり、最近では、其村地区においても、堤防を締めることによる内水対策の要望が強くなっており、特定都市河川の指定が、一つの大きな解決策になると考えている。
- 特定都市河川の指定により、一部規制がかかるものの、長い目で見て、地域の安全度向上や不動産価値の向上に繋がっていくと考えている。
- 雲出川中流部の整備においては、市民や土地所有者の理解を丁寧求めていくことが大切と考えており、津市としてもそのような姿勢で望んでいきたい。

○竹上 松阪市長

- 特定都市河川の指定により、いろいろな規制がかかる話しが先行すると地域住民は身構えてしまうが、最終的には地域を守ることになると考えている。
- 2月の地元説明会については、市の職員も同席させて頂き、丁寧な説明に協力していきたい。

○松下 津市上下水道事業管理者

- 今後の流域水害対策協議会設立や流域水害対策計画の策定において、下水道区域も関係機関と歩調を合わせながら、市民を守るための対策を講じていきたい。

○菅 三重河川国道事務所長

- 地域の理解を得ながら進めていくことが重要なポイントとなる。まずは2月からの地元説明会で丁寧な説明を行っていきたい。

## 6. 閉会

○若尾 三重県県土整備部長

- 前葉市長、竹上市長からご意見があったとおり、やはり住民の方々にしっかりと説明していくことが何より重要と考えている。
- 流域治水は、各論でいろいろな意見を言われるが、そういった意見を良く聞くとともに、国・県・市が別々のことを言ってしまうないように、互いに連携して説明していくことが重要である。このため、本日の場も含めて関係機関と連携を継続しながら、指定に向けた準備を進めていきたいと考えている。引き続き、ご協力をお願いしたい。

以上